

平成20年度 功 勞 賞 受 賞 者

(市町村体育協会推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
1	ごとう さだお 後藤 貞夫	平成10年5月～11年4月 山辺町体育協会 理事長 平成11年5月～20年4月 山辺町体育協会 副会長	山辺町 体育協会	県体育協会の加盟団体である山辺町体育協会において理事長を1年、副会長を9年務め、山辺町並びに山形県の体育・スポーツの普及と振興に尽力された。
2	わだ かずのり 和田 一則	平成7年4月～20年3月 朝日町体育協会 副会長 平成14年4月～現在 朝日町柔道連盟 理事長 平成17年4月～〃 寒河江西村山柔道連盟事務局長	朝日町 体育協会	平成7年より朝日町体育協会の副会長として13年間会長を補佐し、円滑な運営とスポーツの振興と普及に尽力された。
3	たかはし ひろし 高橋 弘志	昭和55年4月～62年3月 高島町野球連盟 会長 昭和55年4月～62年3月 高島町体育協会 常任理事 昭和62年4月～平成11年3月 高島町体育協会 副理事長 平成11年4月～12年3月 高島町体育協会 副会長 平成12年4月～現在 高島町体育協会 事務局員	高島町 体育協会	高島町体育協会役員として、地域スポーツの重要性を認識し、ジュニア育成のため精力的に活躍。またスポーツの競技力向上に取り組み、アマチュアスポーツ全般にわたり卓越した指導力を発揮し、地域スポーツ界に貢献した功績は計り知れない。さらに、スポーツ指導者育成のため、講習会の開催等に尽力、町民よりの信頼も甚大で、現在も協会の対外窓口として活躍、後輩の指導に従事している。

(競技団体推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
4	ゆうき りょういち 結城 良一	昭和54年4月～60年3月 山形県スケート連盟 普及委員 昭和60年4月～現在 山形県スケート連盟 理事 山形県スケート連盟 フィギュア競技部長 山形市スケート協会フィギュア競技委員長	山形県 スケート連盟	べにばな国体においてフィギュアスケート競技委員長、スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲームにおいて競技役員として、大会を成功に導いた。長きに亘り、スケートの普及とフィギュアスケート競技の発展に大いに尽力頂いた功績は大である。
5	ながめま たかし 長沼 隆	昭和49年4月～平成5年3月 山形県水泳連盟 理事・常任理事 平成5年4月～11年3月 山形県水泳連盟 普及委員長 平成11年4月～17年3月 山形県水泳連盟 事務局長 平成17年4月～現在 山形県水泳連盟 理事長	山形県 水泳連盟	水泳の普及、特に学童水泳、マスターズ水泳、スイミングクラブ等社会体育の一環として水泳の県内定着へ貢献された。
6	さわ きよじ 澤 喜代治	昭和61年4月～平成12年3月 山形陸上競技協会 理事 平成12年4月～現在 山形陸上競技協会常任理事・総務副委員長 平成13年4月～〃 山形県体育協会評議員	山形陸上 競技協会	県陸上競技協会の理事及び常任理事として、23年にわたり平成4年べにばな国体、平成10年全日本中学陸上、平成19年全日本実業団陸上などの全国大会をはじめ、県選手権、国体予選、県高校・中学総体など県内主要大会の競技運営・企画に指導役として努めた。特に、べにばな国体の前から県身障者スポーツ大会の陸上競技において、主導的立場から大会運営の尽力した功績は大である。
7	うえまつ じゅんこ 植松 順子	昭和50年4月～現在 山形市家庭婦人バレーボール連盟常任理事 ・理事長・会長・名誉会長 昭和54年4月～〃 山形地区家庭婦人バレーボール連盟理事長 平成5年4月～〃 山形県家庭婦人バレーボール連盟理事長 山形県バレーボール協会常任理事	山形県 バレーボール 協会	本県家庭婦人バレーボール連盟の重職をこなすとともに、全国家庭婦人連盟の競技委員長・監事などの役職を務め、競技力向上に尽力した。平成19年には、本県で開催された「全国ママさんバレー大会」を盛大、成功裏に終了させた功績はすこぶる大である。
8	おかだ さぶろう 岡田 三郎	昭和63年4月～平成4年3月 山形県ウエイトリフティング協会理事 平成元年4月～15年3月 山形県ウエイトリフティング協会審判部長 平成4年4月～15年3月 山形県ウエイトリフティング協会副理事長 平成15年4月～現在 山形県ウエイトリフティング協会副会長	山形県 ウエイトリフティング 協会	県ウエイトリフティング協会創立時より選手として活躍し、国体・東北大会にも出場など好成績を収めた。平成元年より審判部指導担当以後、部長として審判技術の向上に努めた。現在、副会長として協会の発展に尽力している。
9	さいとう さとし 齋藤 悟	昭和49年4月～平成15年3月 山形県卓球協会理事・常任理事 平成15年4月～現在 山形県卓球協会 副会長 平成15年4月～17年3月 山形県高体連卓球専門部部長 平成16年4月～現在 山形県教職員卓球連盟 会長	山形県 卓球協会	氏は県立長井工業高校に28年間勤務し、その間卓球部顧問として県高校総体において7回団体優勝に導き、東北総体でも2年連続団体優勝、さらに全国高校総体、国体においても幾度となく入賞し、指導者としての手腕を大いに発揮された。べにばな国体では少年男子監督として5位に入賞し、卓球競技総合優勝に大きく貢献した。平成20年度には第53回全国教職員卓球選手権大会を天童で開催し、県教職員卓球連盟会長として大会成功に導いた。
10	えのもと まさき 榎本 政規	昭和48年4月～現在 山形県野球連盟 審判員 平成元年4月～7年3月 鶴岡野球連盟 理事 平成5年4月～7年3月 山形県野球連盟 評議員 平成7年4月～14年3月 鶴岡野球連盟 理事長 平成7年4月～14年3月 山形県野球連盟 常任理事 平成14年4月～現在 鶴岡野球連盟 副会長	山形県 野球連盟	長年にわたり、審判員及び野球連盟役員として野球競技力向上を図り、本県野球の発展に多大に貢献した。また、スポーツ少年団・社会人チームの監督部長として地域野球の発展に尽力されている。

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
11	すずき まさひろ 鈴木 正廣	昭和61年4月～平成4年3月 山形県ソフトボール協会 理事 平成4年4月～17年12月 山形県ソフトボール協会 副理事長 平成18年1月～現在 山形県ソフトボール協会 理事 平成10年4月～ // 東北ソフトボール協会 理事 平成14年4月～ // 日本ソフトボール協会技術委員会委員	山形県ソフトボール協会	昭和48年から山形学院高校の顧問となり、以来本県における競技力の向上や審判技術の向上に尽力され、多くの全国大会に選手及び監督として出場。べにばな国体では少年女子監督としてチームの優勝に導くなど、指導者としての功績は顕著である。また、本協会及び東北協会の技術委員長として、県内はもとより東北各県で講習会を開催し、関係者から高い評価を得ている。さらに、役員として永年運営に精励され、競技の普及・振興に寄与された。
12	おおた かずお 太田 和男	昭和48年4月～56年3月 山形地区バドミントン協会事務局次長 昭和56年4月～60年3月 山形地区バドミントン協会事務局長 昭和56年4月～60年3月 山形県バドミントン協会 監事 昭和60年4月～平成元年3月 山形県バドミントン協会事務局次長 平成元年4月～3年3月 山形県バドミントン協会事務局長 平成3年4月～5年3月 山形県バドミントン協会事務局次長 平成5年4月～9年3月 山形県バドミントン協会事務局長 平成9年4月～17年3月 山形県バドミントン協会副理事長 平成17年4月～現在 山形県バドミントン協会 監事	山形県バドミントン協会	永年にわたり、山形県バドミントン協会事務局長、副理事長、監事等を歴任。「べにばな国体」時には競技会委員並びに総務委員として多大な貢献をされた。平成11年に開催された「スポレクやまがた99年年齢別バドミントン大会」では担当副理事長として取り組まれ、その功績は特に顕著である。
13	たけだとういちろう 武田 藤一郎	昭和60年4月～平成元年3月 山形県バドミントン協会事務局長 平成元年4月～3年3月 山形県バドミントン協会事務局次長 平成3年4月～5年3月 山形県バドミントン協会事務局長 平成5年4月～9年3月 山形県バドミントン協会副理事長 平成9年4月～17年3月 山形県バドミントン協会理事長 平成17年4月～現在 山形県バドミントン協会 参与 平成17年4月～ // 山形県シニアバドミントン連盟 会長	山形県バドミントン協会	永年にわたり、山形県バドミントン協会事務局次長、副理事長、理事長を歴任し多大な貢献をされた。平成16年に開催された「全日本シニアバドミントン選手権大会」では理事長並びに実行委員長として取り組まれ、その功績は特に顕著である。現在、県シニアバドミントン連盟会長として、愛好者の普及・発展に尽力されている。
14	まるやま まもる 丸山 鎮	昭和62年4月～平成12年3月 山形県剣道連盟 理事 平成13年4月～14年3月 山形県剣道連盟 評議員 平成16年4月～21年2月 山形県剣道連盟 副会長 昭和38年4月～現在 鶴岡田川地区剣道連盟事務局員・強化部長・理事・理事長・会長	山形県剣道連盟	本県剣道界の代表選手として、国民体育大会剣道競技、十代の部優勝、35歳以上の部優勝等、常に剣道の鍛錬・修練を欠かさず指導者として自ら範を示し、県内多くの剣士の先頭を切り、指導者としても永年若手選手の育成と幼少年の剣道普及振興に尽力した功績は極めて顕著である。
15	おおやま いさお 大山 勲	平成10年4月～現在 山形県少林寺拳法連盟副会長	山形県少林寺拳法連盟	置賜地区が活動を開始して43年が経過した。氏は、自身少林寺拳法を修行し、県連副会長、長井地区連盟会長を務め、置賜地区連盟の発展に貢献した。4年毎に長井市で開催される少林寺拳法県大会を始め、地元の大会等の運営には、物心両面の支援を行ってきた。

## 平成20年度 功労賞(ライオンズスポーツ賞)受賞者

(競技団体推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	きし やすひろ 岸 康弘	平成10年 第21回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳水球競技大会 小学生優勝 平成17年 第27回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳水球競技大会 小学生優勝 平成19年 第30回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳水球競技大会 中学男子優勝 平成20年 第30回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳水球競技大会 中学男子優勝	山形県水泳連盟	15年間、山形水球クラブの監督・ヘッドコーチとして意欲的に指導に携わり、小学生や中学男子を通算5回の全国優勝に導いた。山形水球一貫指導体制の基礎の役割(小・中学生の指導)として活動し、男子は勿論のこと中学女子の全国優勝にも大きく貢献している。全日本代表として活躍している長沼敦、三浦里佳子始め荒井桃子、曲山紫乃、高橋庸孝などの育成コーチである。
2	はしもと よしひさ 橋本 佳久	平成16年度 全国中学校カヌー大会女子K-4 優勝 平成17年度 全国中学校カヌー大会男子C-1,C-2,K-4 女子K-4 優勝 平成18年度 全国中学校カヌー大会女子K-4 優勝他	山形県カヌー協会	平成11年中学校教諭として採用され河北町立河北中学校に配属。平成12年4月カヌー一部の初代顧問として指導にあたる。創部3年目の平成14年度全国中学生カヌー大会で4種目の優勝し、12名の全国チャンピオンが誕生。さらに、平成16年度は1種目4名、続く17年度に4種目延11名の優勝者が生まれ、平成20年度までに、氏が河北中在籍時の全国優勝者は延30名を数える。氏のカヌーに取り組む姿勢は、中・高校生の憧れであり、県内高校カヌー界への橋渡しとなり、県スポーツ界の一翼を担っている。